



音市場 世話人

高橋 弘良

TAKAHASHI HIROYOSHI

1961年 柏崎市出身

今年4月、柏崎のまちなか音楽イベント「音市場vol16音探しの旅」が開催される。今回は、この音市場を立ち上げ、世話人としてイベントをけん引し続けた、故石川真理子さんの意思を引き継ぐと共に追悼の祈りを込めた特別なイベントになる。

4月2日の「まちなか会場」は、本町通りを中心とした柏崎市内12の会場でロック、フォーク、ラテン、ジャズ、クラシック、邦楽、ダンスなど、さまざまなアーティストによる演奏やパフォーマンスが繰り広げられる。

22日のアルフォーレ会場では、石川さんが所属した「日本海太鼓」の演奏を皮切りに、長年親交の深かったプロ演奏家の高瀬アキさん、鈴木良雄さん、山下洋輔さんなど、ジャズ界のそうそうたるメンバーが集まり音市場を盛り上げる。

世話人の一人、音市場ではサクソアンサンブル「プレーメンズ」のメンバーとしても活躍する、高橋弘良さんも昨年からは音市場の運営に携わっている。石川さんとは20代の頃からの知り合いで音市場の立ち上げ当初から「高橋君（音市場に）出てよ」と声を掛けられていたという。高橋さんは柏崎市吹奏楽団を立ち上げた初代メンバーとして現在も活躍中。

柏崎市吹奏楽団の50人ほどの団員が一齐に音市場のステージに立つことは難しいと考え、出演の機会もないままイベントを楽しんでいたという。

高橋さんが音楽を始めたのは中学時代の吹奏楽部。音楽が好きだったこともあり大太鼓や小太鼓、ホルン、トロンボーン、クラリネット等さまざまな楽器を経験。最終的にサクソにたどり着いた。現在はソプラノ、アルト、テナー、バリトンの4種類のサクソを所有し、バリトンサクソを中心に演奏している。そして以前から、少人数のアンサンブルで音市場に参加したいと考えていたところ、アルトサクソ奏者の須川展也さんを講師に迎えた演奏会の企画に参加したことから4人のサクソアンサンブルを始め、「プレーメンズ」として音市場、各種ライブのステージに立つようになった。

これまで、プロ演奏家、作曲家との出会いや演奏活動等、音楽を通してさまざまな経験をしてきたという高橋さん。「新型コロナウイルス感染症のまん延で演奏の機会も減りました。音市場は石川さんが中越沖地震後の柏崎を元気づけるために始めた企画。音楽で少しでも柏崎市民を元気づけられたら良いと考えています」と話した。



かしわざき  
音市場 vol.16 ~音探しの旅~

◆まちなか会場

2023.4.2日

まちなか 全12会場 11:00~START

全会場フリーパス券1000円(当日1500円・中学生以下無料)

◆アルフォーレ会場

2023.4.22日

アルフォーレ 大ホール 13:30開場 開演14:00~18:30

前売り3000円(当日3500円)

\*音市場2日間共通チケット3000円(前売りのみ)

主催:かしわざき音楽商店街